

# 堺市自転車利用環境計画の 成果と課題について

# 3つの目標 <10年後>

項目	目標	達成状況
自転車の利用を促進	自転車の利用割合を24%から <b>30%まで増加</b>	通勤・通学目的の自転車の分担率 <b>【H22国勢調査】24.4%</b> ※R2国勢調査結果は 今秋公表予定
自転車が関与する事故を削減	自転車関連事故件数1,582件から <b>20%削減</b>	H23 1,582件 ⇒R3 <b>835件</b> (52.8%削減)
自転車利用環境に関する市民満足度を向上	市民満足度を <b>50%以上</b>	自転車の利用環境の満足度 <b>【R3市民意識調査】</b> <b>43.6%</b>

# 事業の取組状況

## ■つかう（利用促進）

### 自転車を環境に優しく、健康に良い乗り物として利用を促進

No	事業名	内容	達成目標	達成度	検証
事業1	さかいコミュニティサイクル事業	コミュニティサイクル事業の運営 シェアサイクル事業の導入	コミュニティサイクル利用率 (1以上) 民間事業者主導のシェアサイクル 導入	○	利便性を向上させるため、さらに駅前や人の集まる施設へのシェアサイクルポートの設置
事業2	自転車通勤の促進事業	市内事業者への自転車通勤の促進	自転車通勤奨励事業所を30箇所 に拡充	○	健康・環境等の効果を発信し事業者の理解を高める必要がある 自転車通勤奨励事業所33箇所
事業3	自転車を活かした観光の推進	自転車による市内観光周遊の推進	観光サイクルサポーターの育成	△	周遊に便利で快適な移動手段である 自転車観光を発信 観光サイクルサポーターを育成
事業4	阪堺線との連携	停留場付近への駐輪場の設置	停留場利用者のニーズ把握と駐輪場 設置	△	石津北停留場にシェアサイクル ポートを設置 各停留場への拡充を検討
事業5	市民サイクリングの開催	イベント、自転車散歩の継続	イベント、自転車散歩の継続	△	散歩等イベントの企画・発信
事業6	堺市自転車地図の更新・配布	快適に通行できる道路を選定し、 地図を更新・配布	堺市自転車地図の更新・配布 50,000部	△	自転車ルート追加・見直しを行い 地図を更新し配布
事業7	環境講座等での自転車利用の啓発	CO2削減など自転車の有効性を啓 発	環境に優しい移動・交通手段の自転 車利用の促進	△	環境講座等で自転車利用の啓発を 継続

# 事業の取組状況

## ■まもる（安全利用）

自転車の交通ルールの遵守とマナーの向上と、安全なまちづくりを市民や事業者と協働して推進

No	事業名	内容	達成目標	達成度	検証
事業8	市民・事業者・行政の協働による交通ルールの遵守・マナーの向上の啓発	市民等と協働してイベントなどで交通ルールを啓発	さかい自転車デーなどで啓発延べ10万人	△	イベントなどの機会をとらえて啓発を継続
事業9	安全な自転車利用を進めるリーダーの養成	自転車リーダー養成講座により人材を育成	自転車リーダー育成目標200人	△	自転車リーダー養成講座を継続
事業10	交通安全教育の推進	小学校等での交通安全教室の実施	全小学校での出前型交通安全教室の実施	○	各年代に合わせた効果的な交通安全教育の実施
事業11	自転車事故に対する危機管理意識の向上	自転車ヘルメットの着用促進や自転車損害賠償保険等の加入促進	全自転車利用者への周知	△	自転車事故を起こした時のリスクを周知し、保険等の重要性の啓発を継続

# 事業の取組状況

## ■とめる（駐輪環境）

### 自転車の利用を促進するための駐輪環境のあり方の検討と放置自転車の削減

No	事業名	内容	達成目標	達成度	検証
事業12	駐輪場の再配置、料金体系の見直し及び機能充実	既存駐輪場の再配置検討	駐輪場の利用率の向上	△	利便性の高い駐輪場の整備と運用
事業13	放置自転車の撤去及び削減に向けた啓発と撤去自転車の有効活用	放置自転車撤去の強化及び啓発	放置自転車台数の削減 (平成23年度2,100台の50%)	○	放置自転車対策の継続
事業14	事業者による駐輪場の設置促進と支援	鉄道事業者や民間事業者による駐輪場設置の促進	鉄道駅直近の駐輪場の設置	△	鉄道事業者や民間事業者による駐輪場設置の促進を継続

# 事業の取組状況

## ■ はしる（通行環境） 安全に通行できる自転車通行環境を形成

No	事業名	内容	達成目標	達成度	検証
事業15	自転車通行環境整備事業	自転車道や自転車レーンに重点をおいて整備を実施	自転車通行環境の整備延長50km	△	自転車ネットワークを形成するため連続性を確保する整備

## ■ つかう・まもる・とめる・はしる 大和川沿川に賑わいエリアを創出

No	事業名	内容	達成目標	達成度	検証
事業16	大和川沿川における自転車を活用したまちづくりの推進	大和川沿川の通行環境を整備し広域的な周遊ルートを形成	自転車を活かしたまちづくりに寄与したエリアの創出	○	現在進行中の大和川沿川の通行環境や賑わい創出事業を継続

## 課題

### 【利用促進】

- 自転車の日常利用について便利と思う市民は微増しているが、いつでも、どこでも、幅広い年齢層が自転車利用できる環境が整っていない。

### 【安全利用】

- 自転車は手軽で便利な乗り物で、誰もが利用しやすい移動手段だが、交通ルールを学ぶ機会が少なくルールが浸透していない。

### 【駐輪環境】

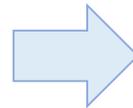
- 利用料金のキャッシュレス化や短時間駐輪の対応など、利便性向上を求める市民ニーズに、対応できていない。

### 【通行環境】

- 未整備となっている一部の区間の整備や、利用者が多い拠点へのアクセスを整備していく必要がある。

### 【つかう・まもる・とめる・はしる】

- サイクルシティ堺としての都市魅力の発信が不足している。



## 方向性

### 【利用促進】

- 市内周遊など移動の利便性を向上させるため、シェアサイクルを充実し、自転車利用の機会を増進させる。
- 健康や環境など自転車の利点を発信し、観光や通勤など自転車利用の機会を促進する。

### 【安全利用】

- 自転車事故をさらに削減するため、年代に合わせた自転車交通安全教育を行う。
- 組織や事業者等と連携しながら、教育・啓発・指導ができる体制づくりを支援する。

### 【駐輪環境】

- 駐輪場の利便性を向上させるため、キャッシュレス化、短時間の無料駐輪場、既存駐輪場の再編等、質の高い自転車駐車環境を整備、運営する。

### 【通行環境】

- 自転車ネットワークを形成するため、整備済み路線の一部未整備区間や拠点へのアクセス路線等、自転車通行環境の機能確保・向上につながる路線を優先的に整備する。

### 【つかう・まもる・とめる・はしる】

- 堺の歴史・文化・自転車との歩みを発信し、大和川を中心としたサイクルルートを形成し、自転車の賑わいとなる拠点の施設を整備し、サイクルシティとしてブランド化する。